

# 第1回まちづくり推進町民会議を開催しました

平成24年度第1回まちづくり推進町民会議（山崎晴一議長）が5月18日（金）15：00から美深町役場大会議室において開催され、委員23名と町理事者、各課長等あわせて36名が出席し、町政への質疑・意見交換が行われました。



▲委嘱状交付の様子

## 会議内容

- ・山口町長あいさつ
- ・委員への委嘱状交付
- ・議長・副議長選出
- ・まちづくり推進町民会議の役割について
  - まちづくり推進町民会議について
  - 第5次美深町総合計画について
  - 美深町行政改革について

## 新議長と副議長が選出されました



▲新議長に就任した山崎委員

同会議の議長には、山崎晴一委員（美深町商工会）が、副議長には、齊藤宏行委員（美深町青少年育成協議会）が選任されました。（任期は3年間。）山崎議長からの就任あいさつでは、「会議は、日頃思っていること、感じていることなど、どんどん意見を出して欲しい」と述べました。

## まちづくり町民会議の役割とは？

同会議は、町内各団体や自治会からの推薦委員、公募委員計30名で構成される住民組織です。町の主要課題や施策の推進状況を定期的に確認、検討すると同時に、町政全般に関する意見交換を行い、町政に反映させることを目的として年2回開催しています。

具体的内容としては、

町政全般に対する意見要望の聴取

総合計画の進行状況の確認

行政改革推進計画の進捗状況の確認

などとなっています。

## 第5次美深町総合計画について

本計画については、計画策定時の財政運営の見直し、投資的事業など施策の優先度等を検討し、

- 1.自然環境と調和する安全・安心なまち「美深」
- 2.資源をいかす活力に満ちたまち「美深」
- 3.次代を創る人を育てるまち「美深」
- 4.健康で明るく暮らせるまち「美深」
- 5.みんなでつくる心かようまち「美深」

という5つの大項目のもと、計画の着手にあたることを報告しました。

第5次総合計画イメージテーマ▶



## 美深町行政改革について

平成22年度から27年度までの6年間で第4次行政改革とし、平成24年度は中間年の見直し時期に位置付け、住民参加の促進、広域連携という重点目標を掲げての「住民福祉の向上と地域主権型のまちづくり構築」、事務事業の充実、財政負担抑制・住民負担の見直し、公共施設等の見直しを重点目標に掲げての「スリムで効率的な行財政の維持」、職員体制と行政機構の見直しを重点目標に掲げての「職員の人材育成・能力開発と意識改革」という3つの柱の視点で取り組んでいることを報告しました。

## 出席委員からの質疑・意見

総合計画書を拝見した。残念ながら雪の写真が使用されていない。雪をもっとアピールすべきでは。  
《回答》：冬はつらいイメージにつながりがち。冬を快適に過ごす視点も必要。今後、注意しながら進めていきたい。

学校給食の実現に向けての進捗状況は。実現に向け、積極的に働きかけてほしい。

《回答》：議会特別委員会でも実施の方向で検討している。中学校改築と同時に給食センターを併設できないか検討している。費用・時間ともかかる問題である。

市街地はフレックスバスが整備されているが、郊外の整備は。将来的に利用できると良い。

《回答》：仁宇布地区はデマンド式で実施。市街地は試行中でそれ以外をどうするか財源等の問題ある。住民の足の確保は大事であり、常に課題としたいが、現時点では回答が難しい。

町から～農業の後継者づくりは国の支援も出てきたが、農業以外では充実していない。町では、地元出身の企業家への企業誘致を進めているが、労働力など心配な面もある。

第2回会議は9月頃の開催を予定しています